

Social（社会）		
EIZOのマテリアリティ	重要課題	関連するSDGs
「映像」を通じた豊かな社会への貢献	・先端技術を開発・応用した高品質・高信頼性の製品・システム・サービスの提供 ・社会インフラを支えるImaging Chainの提供 →医療・福祉の質・安全性の向上への貢献 →世界の医療の進歩に貢献する映像環境の提供 →安心・安全なまちづくりへの貢献	   

指標（KPI）	2024年度		2025年度	2030年
	目標	実績	目標	目標
医療の安全・質の向上への貢献	・医療安全・ワークフロー効率化に貢献する商品のワールドワイド展開強化 ・安心な読影環境を支えるモニター品質管理の啓蒙強化	・医療安全への貢献 - 医用レコーダーMIR-1の機能強化と海外向け展開開始 - 国内画像診断用モニターの医療機器化へいち早く対応 - 国内の品質管理新規格 JESRA TR-0049に世界初対応 ・ワークフロー効率化への貢献 - 12G-SDIスイッチャーを海外向けに販売開始 - ネットワーク品質管理ソフトウェアの医療機関グループ向け導入 ・品質管理の啓蒙 - インド等における学会での講演	・医療安全・ワークフロー効率化に貢献する更なる付加価値提供とワールドワイド展開強化継続 ・安心な読影環境を支えるモニター品質管理の啓蒙継続 ・広がるデジタル画像診断領域でのニーズに応える商品力強化	・広がるデジタル画像診断領域に最高の映像品質を提供 ・映像の利活用による医療安全とチーム医療の課題解決に貢献
感動を与えるエンターテインメント産業発展への貢献	・HDR ^{※1} 制作環境整備のための製品の拡充 ・ネットワーク型カラーマネージメントソリューションの導入でデジタルワークフローを改革	・忠実なHDRコンテンツ表示を可能としたPROMINENCE CG1発売	・独自の表示技術と色管理で製作環境整備に貢献 ・制作環境整備のための製品ラインアップの拡充	・独自の表示技術と色管理で業界最高品質の制作環境を提供
インフラの安全・保全を支える映像技術の提供	・CBM ^{※2} をはじめ、遠隔による監視や操縦など、社会インフラの高度化・効率化に資するトータルソリューションを提供	・産業市場向けの新ソフトウェアブランドVisionCoreの立上げおよび画像鮮明化ソフトウェア VisionCore FCS/FCS Viewer発売 ・3D映像表示技術を用いて建機の遠隔操作における操作性を向上	・CBM・遠隔監視操縦・無人運航支援など、社会インフラの高度化・効率化に貢献するソリューションの提供	・社会変化に伴うインフラの高度化・効率化を映像技術で強力に支援
使う人の健康と環境の保全に配慮した製品の提供	・製品の環境配慮の一層の推進 ・目や身体への負担が少ない機能の充実	・TCO 10をFlexScan9機種が世界初取得 ・欧州エネルギーラベルClass AをFlexScan FLTが世界初取得	・製品における環境配慮の取組継続 ・目や身体への負担が少ない機能の充実	・業界最先端の低消費電力、グリーンマテリアル（低環境負荷材料）採用製品の提供 ・目や身体への負担が少ない機能の充実

※1 HDR（High Dynamic Range）：一般的なSDR（スタンダードダイナミックレンジ）映像に比べてより広い明るさの幅（ダイナミックレンジ）を表現できる表示技術。SDR映像では目立たずつれたり日向が白飛びしたりするのに対し、HDR映像では明るい部分と暗い部分どちらの階調も現性にとることなく、より自然でリアルな描写が可能になる。

※2 CBM（Condition Based Maintenance）：状態基準保全。IoTやAIなどを活用して設備や機械の状態を監視し、故障前にメンテナンスを行うこと。

Social（社会）		
EIZOのマテリアリティ	重要課題	関連するSDGs
自由闊達で創造的に活躍できる企業文化	・異なる文化・価値観の尊重 ・人材価値の最大化 ・エンゲージメントの向上 ・健康経営の推進 ・安心・安全に働ける環境の構築・維持	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も

指標（KPI）	2024年度			2025年度		2026年度	2030年
	目標	実績		目標		目標	目標
		連結	国内	連結	国内		
女性管理職比率	5.0%	11.7%	3.9%	15.0%	5.0%	連結：18%/国内：7%	連結：25%/国内：15%
女性リーダー職比率 ※管理職含む	7.0%	-	6.4%	-	8.0%	10.0%	20.0%
障害者雇用率	2.5%（法定2.5%）	1.5%	2.2%(法定2.5%)	1.7%	2.5%（法定2.5%）	2.7%（法定2.7%）	2.8%
一人当たりの年間研修受講数	10.0件	-	7.8件	-	12件	15件	20件
年間人材育成投資額／時間	60,000円/50時間	-	36,600円/28時間	-	50,000円/40時間	80,000円/60時間	100,000円/70時間
エンゲージメントスコア ※「仕事への活力・誇り」調査項目への回答結果より	2.7/4.0点中	-	2.4/4.0点中	-	2.7/4.0点中	3.0/4.0点中	3.2/4.0点中
新卒離職率	5.0%以下	-	6.6%	-	5.0%以下	5.0%以下	5.0%以下
有給休暇取得率	90%	-	84.3%	-	90%	95%	100%
育児休業取得率	女性：100% 男性：90%（3か月以上：40%）	-	女性：100% 男性：68%（3か月以上：32%）	-	女性：100% 男性：90%（3か月以上：40%）	女性：100% 男性：100%（3か月以上：50%）	女性：100% 男性：100%（3か月以上：65%）
私傷病による休職者率	0.6%	-	0.9%	-	0.6%	0.4%	0.3%
重大労働災害件数 ※死亡災害、後遺障害の残る災害	0件（海外含む）	0件	0件	0件	0件	0件	0件
労働災害度数率 ※100万延実労働時間当たりの休業1日以上 の災害件数	0	集計中	0	0.00	0.00	0.00	0.00

Social（社会）		
EIZOのマテリアリティ	重要課題	関連するSDGs
人権と多様性の尊重	・当社事業に関わるすべての人の人権の尊重 - ー不適切な労働の禁止（児童労働、強制労働、拘束労働） - ーあらゆる差別・ハラスメントの禁止	  

指標（KPI）	2024年度		2025年度	2026年度	2030年
	目標	実績	目標	目標	目標
人権侵害に関する社内外からの通報件数	・社外通報・相談窓口の設置、周知 ・人権デューディリジェンスの実施及び情報開示	・社内外からの通報件数：3件 ・社外通報・苦情受付相談窓口の運用開始、当社Webサイトにて周知 ・人権デュー・ディリジェンスの実施（重要な人権課題の特定まで完了）、統合報告書および当社Webサイトにて情報開示	・「EIZOグループ人権方針」の改定および従業員教育 ・昨年度人権DDにて特定した重要な人権課題への対応	バリューチェーン上の人権リスクの低減	バリューチェーン上の人権リスクの低減
不適切労働（児童労働、強制労働、拘束労働）に関するコンプライアンス違反件数	0件	0件	0件	0件	0件
サプライヤーにおけるSAQ [®] の人権項目への対応率	90%	100%	100%	100%	100%

※SAQ：適合自己診断書

Social（社会）		
EIZOのマテリアリティ	重要課題	関連するSDGs
サプライチェーンマネジメント	・相互の繁栄を基本としたパートナーシップの構築 ・安定供給の取組み ・サプライチェーンを通じたサステナビリティの取組の推進 - ー気候変動・生物多様性・水資源に関する取組み	    

指標（KPI）	2024年度		2025年度	2026年度	2030年
	目標	実績	目標	目標	目標
当社サプライヤー行動規範へのサプライヤーの賛同率	100%	100%	100%	100%	100%
真任ある鉱物調達調査 回答回収率	100%	集計中	100%	100%	100%
第三者検証済3TG製錬所（RMAP適合率）	75%	集計中	75%	80%	90%
サプライヤーとの協働による低環境負荷製品の開発	・協働検討会実施の対象サプライヤーを拡大 ・低環境負荷デバイスの製品採用	・9社の主要サプライヤーと実施 ・FlexScan FLTにおいて低消費電力LCDパネルを採用し、EEL ClassAを取得	・B&P以外のカテゴリ製品においても消費電力目標を設定しサプライヤーと協働を開始 ・部品納入用梱包材の紙素材採用拡大	・サプライヤーとの協働を強化 ・低環境負荷製品の製品拡充	・サプライヤーとの協働を強化 ・低環境負荷製品の製品拡充
気候変動対策に関するエンゲージメントの実施	・サステナビリティ説明会の継続実施 ・SBT取得/気候変動対策の支援	・調達方針説明会に参加した128社に対し、当社のサステナビリティへの取組み状況を説明 ・サプライヤーからのGHG排出量調査回収率：96%	・サステナビリティ説明会の継続実施 ・SBT取得/気候変動対策の支援	・サステナビリティ説明会の継続実施 ・SBT取得/気候変動対策の支援	・サステナビリティ説明会の継続実施 ・SBT取得/気候変動対策の支援
RBA行動規範に沿ったサステナビリティの取組推進	・RBAに関する理解浸透 ・人権に関する苦情窓口の設置	・EIZOサプライヤー行動規範へのSAQ回収率：95% ・人権に関する社外通報・苦情受付窓口の設置完了	・RBAに関する理解浸透 ・ハイレスクサプライヤーの縮減に向けたエンゲージメントの実施	・RBAに関する理解浸透 ・ハイレスクサプライヤーの縮減に向けたエンゲージメントの実施	・RBAに関する理解浸透 ・ハイレスクサプライヤーの縮減に向けたエンゲージメントの実施

Environment（環境）		
EIZOのマテリアリティ	重要課題	関連するSDGs
循環型社会への対応	・最先端の環境マネジメント ・人や環境に配慮した製品づくり ・環境と人体に負荷の少ない素材へのシフト	   

指標（KPI）	2024年度		2025年度	2026年度	2030年
	目標	実績	目標	目標	目標
ハログンフリー材の使用率 [※]	83%	79.5%	83%	85%	90%
製品本体へのリサイクルプラスチック使用率	・25% ・新規開発モデルより、高リサイクル率プラスチックを採用	・27.9% ・新規開発モデルへの高リサイクルプラスチックの継続採用	・38% ・新規開発モデルへの高リサイクルプラスチックの継続採用	45%	70%
製品梱包材における紙素材の採用率	・25% ・新規開発モデルより、紙素材梱包を採用	・30.1% ・新規開発モデルへの紙素材梱包の採用	・45% ・新規開発モデルへの紙素材梱包の継続採用	55%	80%

※対象部材(PCB・ケーブル・ハーネス・25g以上のプラスチック部品)の購入数量に占めるハログンフリー材の割合

Environment（環境）		
EIZOのマテリアリティ	重要課題	関連するSDGs
気候変動への対応	・気候変動対策に資する製品・システムの提供 ・製品ライフサイクル全体でのGHG排出削減 ・事業活動における環境負荷低減	    

指標（KPI）	2024年度		2025年度	2026年度	2030年
	目標	実績	目標	目標	目標
Scope1＋2 削減率（2019年度比）	58%減	58.1%減（見込み）	59%減	61.5%減	70%減
Scope 3（Category1＋Category11）削減率（2019年度比）	12.5%減	集計中	15.0%減	17.5%減	27.5%減
再生エネルギー使用率	67%	70%	74%	78.8%	国内グループ会社：100% 海外含む全てのグループ会社：92%

Governance（ガバナンス）		
EIZOのマテリアリティ	重要課題	関連するSDGs
オープンでフェアなガバナンス	・適切な情報開示 ・レジリエンスの強化 ・情報セキュリティの強化 ・ビジネス倫理の徹底	

指標（KPI）	2024年度		2025年度	2026年度	2030年
	目標	実績	目標	目標	目標
コンプライアンス教育受講率	100%	・100% ・管理職向け人権・ハラスメント教育会の実施	100%	100%	100%
重大なコンプライアンス違反 [※] 件数	0件	0件	0件	0件	0件
情報セキュリティの従業員教育実施率	100%	・情報セキュリティ教育：100% ・標的型攻撃メールに関する訓練：100%	100%	100%	100%
重大な情報セキュリティインシデントの発生件数	0件	0件	0件	0件	0件
災害対応BCPの強化	-	・建物の耐震性向上対策の実施 ・物流倉庫の重畳物落下防止対策の実施	建物の耐震性向上の追加対策実施	BCPの継続的な改善	BCPの継続的な改善
ESG取組に対する外部評価	CDP/EcoVadis/RBA VAP認証での上位評価の取得	・CDP（気候変動）Aリスト ・EcoVadis Bronzeメダル ・RBA Gold（EIZO株式会社）、Silver（EIZOエムエス株式会社七尾工場）	ESG取組に対する外部評価で上位評価の取得	ESG取組に対する外部評価で上位評価の取得	ESG取組に対する外部評価で上位評価の取得

※「重大なコンプライアンス違反」とは、刑事罰、行政罰、行政処分等の制裁が科された、またはその可能性が高い法令違反をいう。贈収賄、インサイダー取引、談合、ハラスメント、強制労働、人身売買、児童労働、長時間労働等が例として挙げられるが、これに限らない。